

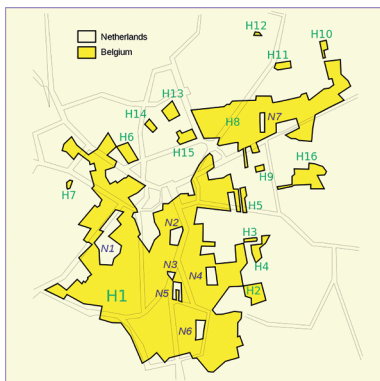
# オランダ **の中にある** ベルギー

## に行ってみよう!

アントワープから北西約60kmの国境近くにあるベルギーの街Baarle-Hertog(バール・ヘルトフ)は、オランダの中に存在します。えっ、オランダの中にベルギーってどういうこと?と思ってしまうのは、外国に行くにはパスポートが必要な日本人にとって、当然ですね。実は、オランダの中にベルギーが22カ所も点在するのです。プチボワ調査隊は、早速出かけてみました。

### 街の歴史

紀元前1世紀ごろ、ローマ帝国の植民都市として築かれたというこの地が歴史書に登場するのは、992年です。その後1190年に起こった係争の後、まだ人が住んでいない林と平原だったブレダ南部の広大な領地(現在のオランダ領)を封建領地として、ブラバント公爵がオランダのブレダ領主に与えたといわれており、この地区が後にバールレ・ナッサウとなります。そして、ブラバント公爵は、後にベルギー領となるバールレ・ヘルトフを自らが所有する土地として手元に残していました。



黄色い部分がベルギー領

1648年に締結されたヴェストファーレン条約により、ブレダ領はオランダ共和国領となり、ブラバント公爵領が取り残される形となりました。その後、1810年以降にオランダがフランス帝国の直接支配を受け、また1815年にオランダ王国が成立して、両土地が一旦は同じ中央政府の下に置かれましたが、1843年にベルギーが独立した際、両国政府と住民の間で調整がつかず、両土地間に再び国境線が復活しました。

1991年、シェンゲン協定によりオランダとベルギー間の移動がほぼ完全に自由になったものの、飛び地が点在している状況では様々な問題が起きるため、オランダとベルギーの間で何度か飛び地解消に向けた交渉が行われました。しかし、この状況を利用する住民の反対などもあり、問題が解消されないまま今日に至っています。出典: ウィキペディア



### 街の観光

まずは、観光案内所に行って市内地図を受け取り、観光ポイントを教えてもらいましょう。案内所は、オランダ側にあります。そのすぐ隣は、1860年に建設されたオランダのカトリック教会(O.L.Vrouw van Bijstand Church)です。1932年に改築され、新旧両スタイルがうまく調和されています。教会の前の通りをオランダの役所(Gemeente Baarle Nassau)に向かって歩いていきましょう。各家の番地プレートはオランダの旗になっていて、ここがオランダと分かるようになっています。

オランダの役所の前に井戸があります。この街の中心にある2つの井戸のうちの一つで、1809年に設置されたフランス風の井戸です。



さらに道を進むとカフェが並んでおり、最後のカフェの歩道を見ると、ここまでがオランダ、この先はベルギーと分かるように白いタイルが敷き詰められているのがみえます。さらにこの歩道には、それぞれの国を象徴する紋章もタイルで造られています。その先の家の番地を見ると・・・、左上にベルギーの国旗がみえますね。こうやって道行く人が、どの国にいるのかわかるようになっています。



## 中古車

### お求め、売却ご予約の方は是非当社へ!

オートマチック車専門に常時40台前後の在庫を保有し、品質管理をモットーとしています(品質保証1年)。ご予約が立ちましたらお気軽にご相談ください。

### Garage Automatic-Cars SA

www.automatic-cars.be

Rue du Tige 125, 4040 Herstal

Tel : 0472 93 00 72 Mr. Fabio Ferraro (仏/英語)

Tel : 0499 39 25 59 Machida Masayo (日本語)

## 和食レストラン 従業員募集

ブリュッセルの和食レストランが、日本人、または日本語の話せる人を探しています。

料理のできる方、給仕のできる方。

フルタイム、ハーフタイム、短時間勤務などご希望に合わせます。

詳細は☎0479 79 94 70まで(日・英・仏)





カフェの斜め向かいにゴシック建築のベルギーのカトリック教会 (Saint Remigius Church) が見えてきます。46mの教会の塔は、特殊な球を備え付けており、石灰石で装飾されています。教会内のステンドグラスは、1959～1970年の間にアントワープの芸術家Jos Hendrickx(1906-1971)により製作されました。この教会の前に2国の境界を示す国境の碑があり、教会の横には、街の様子を現したパノラマ模型があります。

教会の後ろには、ろうそくで作った聖像の数々が展示されているカールセン博物館があります。

カールセン博物館  
www.kaarsenmuseum.nl  
Kerkplein 2  
2387 Baarle-Hertog  
4月1日～9月30日、火-金11～16h、土・日12～15h、月休、大人€4、65歳以上€3.5、18歳未満無料



ベルギーの教会の裏手の道を進んでいくと、ベルギーの役所 (Gemeente Baarle Hertog) が出てきます。この建物は1877～1986年の間役所として使用されていましたが、現在は、文化・歴史センターの事務所兼ギャラリーとして使われています。

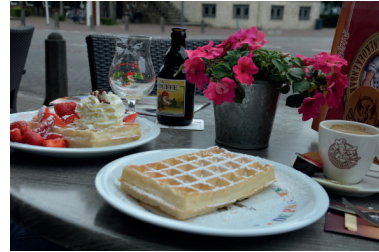
さらにその道をしばらく歩いていくと、なんと玄関の真ん中に国境線が走っているという珍しい家が出てきます。オランダ側の住所は19番(右側)、ベルギー側は2番(左側)という2つの住所を持った家屋です。生活している人から「ここは私の家よ。オランダでもベルギーでも、どちらでもいいでしょう?」といわれそうですね。

この街の人たちは、昔から2国であることを楽しみながら生活しているようです。国境ができてからも争うことなく、お互いの利益をうまく利用して生活しています。なので、「今更、この点在して



いるベルギーを一つにまとめなくてもいいじゃない。国籍に関係なく、我々はヨーロッパ人よ」と言いたげでした。

面白い街を見ようと、平日でもさすがに年配の観光客があちこちに。オランダでは、観光客も自転車を借りてサイクリング気分で観光していて、車も自転車に注意しながら徐行運転をしています。車でお出かけの方は、十分注意してください。特にお年寄りには、急に道路に飛び出します。



さて、街の観光を終えたら、カフェで一休みしましょう。オランダ側のカフェにはパンケーキが、ベルギー側のカフェにはゴーフルがと思い、オランダ側のカフェに行きました。しかし、持って来てくれたメニューを

見たらオランダのパンケーキがない! というわけで、オランダ側でベルギーのビールとゴーフルを堪能し、疲れを癒しました。

元気を取り戻したら、夕食の食材を買いに行きましょう。アムステルダムやブレダにもあり、Bio製品を中心に販売しているオランダの大型スーパーチェーンJUMBOの支店が、この街にもありました。



白身魚の唐揚げ、お寿司などすぐに食べられるものから、暖め直して食べられるもの、一般の食材など種類が豊富です。すぐに食べられる枝豆もありました。運転してくれたお父さん、お母さんへの慰労にもってこいの一品ですね。値段もベルギーのスーパーに比べ、若干安い。チーズの種類も多く、お試しの価値あります。\*写真はBredaで購入のもの

Jumbo Bart en Katja de Bresser  
St. Annaplein 15, Baarle-Nassau  
www.jumbodebresser.nl  
月-水・土8～20h、金8～21h、日9～17h

お任せ下さい!  
国際引越は、  
**KOYANAGI WORLDWIDE**

送った荷物には笑顔で  
再会したいものですね・・・

Tel: 02 726 7032  
Fax: 02 726 8791  
Email: omatsu@koyanagiworldwide.com  
koyanagiww@skynet.be

韓国料理レストラン  
**ソウル**

世界で一番おいしい焼肉を  
お楽しみください。  
ニンニク炒飯、カルビ、  
豚カルビなどがあります。

韓国のスタミナ日替ランチ(水・木・金) €9.50

ザ・ホテル (The Hotel) 前  
営業時間: 日・月・火 18:30～22:30  
水～日 12:00～14:00、18:30～22:30  
RUE CAPITAINE CRESPEL 14, 1050 BRUSSELS  
Tel 02 513 17 25